

留意事項について

介護予防・日常生活支援総合事業費算定に係る体制等状況一覧表

今回の報酬改定に伴う新たな加算の追加や変更について、総合事業を実施する指定事業所(以下「事業所」)は「介護予防・日常生活支援総合事業費算定に係る体制等状況一覧表」を保険者に提出する必要がある。

さらに、都道府県等は、事業所の届出に基づき作成された事業所台帳を国保連合会に提出する必要がある。

都道府県等における事業所台帳の不備や整備の遅れは、不当な請求の返戻及び審査スケジュールの遅延等につながりかねない。

このため、都道府県等は次の事項を参照のうえ、事業所に届出の適切な指導を行い、事業所台帳の整備にあたるよう留意されたい。

1. 事業所への適切な指導

届出様式、届出項目の追加に関する留意点

訪問型サービス(みなし)及び通所型サービス(みなし)において、平成30年10月以前の体制から変更がない場合は、届出不要である。

なお、通所型サービス(みなし)及び通所型サービス(独自)において新たに追加された届出項目「生活機能向上連携加算」について、報酬の算定上必要となる届出を行うこと。新たな届出がない場合は「なし」とみなす。

2. 事業所台帳への届出内容の確実な反映

事業所台帳の届出項目の変更等に伴う旧事業所台帳からの移行に当たっては、変更される台帳項目の設定や、旧届出内容からの読み替えを行うとともに様式変更後の事業所の体制等に関する届出内容を確実に事業所台帳に反映させること。

3. 国保連合会への的確な情報提供

事業所台帳の異動情報については、国保連合会において請求情報との突合審査に使用するものであることから、的確かつ遅滞なく国保連合会へ提供すること。

特に、10月サービスに係る事業所台帳の異動情報については、新たなコード体系に基づいて、国保連合会への提供を的確に行うこと。

なお、新規指定事業所の事業所台帳の異動情報については、インターネット請求の準備のために、都道府県から国保連合会へ1ヶ月前に送付していただくようお願いしているところだが(平成26年7月17日開催介護電子請求に関する都道府県・国保連合会合同説明会資料108~109ページ参照)平成30年10月の新規指定事業所の異動情報については、新たなコード体系に基づく異動情報を送付する必要があるため、10月には送付せず、全て11月に送付すること。